

2014/10/03

コラーゲンペプチドの変形性関節症抑制メカニズムに関する論文 が国際誌(J. Chitin Chitosan Sci. 3(2), 2014)に掲載されました

城西大学 薬学部 中谷祥恵先生、真野博先生との共同研究成果

老化は、変形関節症として知られる関節軟骨障害のリスク因子の一つです。

今回の研究では、弊社製コラーゲンペプチドの変形性関節症抑制メカニズムの解明を目的に、コラーゲンペプチドを添加した培養軟骨細胞でのすべてのmRNA(メッセンジャーリボ核酸)解析を行いました。

この研究により、コラーゲンペプチドが軟骨細胞分化に関与する候補遺伝子の発現を抑制することが解りました。このコラーゲンペプチドによる抑制は、関節軟骨の老化の予防が可能であることを示しています。

詳しい内容については <http://dx.doi.org/10.1166/jcc.2014.1070> をご覧ください。